

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 14日

事業所名 Coccoleto千里校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	規定における十分なスペースを確保しております	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基準を満たす適切な職員配置をしております	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	ゲートで空間を区分けしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	プログラム開始前、実施後に清掃・除菌を行っております。空気清浄機、エアバスターを設置しております	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	定期的にスタッフミーティングを行い、業務改善に努めております	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	玄関前に掲示しております	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		現在は未実施のため、今後実施できるように検討中です
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	プログラム研修に加え、人権研修、虐待に関する研修、感染症対策など、専門職員による社内研修として実施しております	質の向上の為、スタッフ間でも指導を行ってまいります
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	モニタリングにて保護者と利用児のニーズを聞き取り、子どもの発達に合わせて個別支援計画を作成し、保護者の同意を得るようにしております	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	100%		今後は大阪府教育委員会が作成したアセスメントの使用を検討中です
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	発達目安をもとに、計画に沿った支援を実施しております	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	人間科学に基づいたプログラムを毎日オーダーメイドで行っています	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	発達支援のニーズに応じて行っております	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時に一日の支援内容とプログラムの計画、役割分担を話し合い確認しております	今後は、よりスタッフ間で情報共有できるように時間を設けてまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援終了後に個人の支援記録にて情報を共有できるようにしております。また、課題点などは口頭でも情報共有しております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	1か月ごとにコレクター（写真付きのお手紙）を出すことで、支援記録の確認や見直し、次月の支援の課題設定に活用しております	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年ごとに保護者さまと面談を行い、児童発達支援計画の見直し及び作成を行っております	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	相談事業所と、電話や対面にて連携を行っております。必要時にはサービス社担当者会議に参加しております	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		必要時には各機関と連携して支援を行います。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	非該当	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	非該当	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	送迎時にお話をし、必要時には各園の先生との面談も行っております	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	サポートブックを作成し情報提供を行っております	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	必要時には他事業所と連携を図っています。また、必要に応じて研修を受けております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	実施しておりません	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日報や送迎時にお子さまの様子をお伝えし、情報共有に努めております。また、お電話にてご質問やご相談のご連絡をいただいております	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	100%	0%	保護者様向けの勉強会を主に配信と、対面にて行っております。今後も定期的開催予定です	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っております	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	半年ごとに保護者さまと面談を行い、児童発達支援計画の見直し及び作成を行っております	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	お悩みやご相談など、スタッフと共有し丁寧な対応を心がけております	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	不定期のイベント時に保護者会を実施しております	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	1か月に1回、お子さまの様子をココレターとして配布しております	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	契約時に個人情報に関する同意書を取り、守秘義務を遵守しております。また、鍵付きのロッカーに保存しております	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	保護者には主に書面で伝える事で、内容の相違のないようにしております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%	食事の提供は行っていません	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に数回の研修を実施しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0%	100%	現在、該当するお子さまはいらっしゃいません	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。